

事務事業名	小中連携・一貫教育推進事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	23 終了		
H29作成課等名	学校教育課	H29係等名	学務係	H28担当課等名	学校教育課			
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり					
	施策	22	義務教育の充実					
目的	対象(誰・何を)	市内小中学校			対象指標	指標名及び単位	28年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	各校や地域の特色を生かした一貫性のある教育活動を実施する。				小中学校数	28	
	向上させたい上位施策の成果指標	不登校の児童・生徒数						
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	小中連携・一貫教育を実施する中学校区数		9	9	9	9	
	成果指標	連携・一貫教育を受ける児童生徒数		8742	8730	8594	8572	
定性目標								
事業概要	<p>義務教育9年間において、各校や地域の特色を生かした一貫性のある教育活動を行うことで中1ギャップの解消を図り、地域に誇りと愛着を持つ心と確かな学力を育む。</p> <p>中学校区単位で、①児童・生徒間の交流活動の推進、②小中学校の教職員間の連携の強化、③地域資源の積極的な活用等により、学力・体力の向上及び不登校問題の解決を図る。</p> <p>また、地域で学校運営に関わるしくみづくりについての研究を行う。</p>							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	<p>小中連携・一貫教育を全中学校区(9校)で実施する。</p> <p>教育支援指導主事を各中学校区に配置し、小中連携の調整・教科指導、及びいじめ・不登校・障がい等個別の支援が必要な児童等に対する支援を行う。</p> <p>1 市内全中学校区における小中連携・一貫教育の実践</p> <p>2 中学校区への教育支援指導主事の配置</p> <p>3 小学校へ中学校教科書の配布</p> <p>4 特色ある小中連携・一貫教育を実施する学校の支援</p> <p>5 飯田コミュニティスクールの導入</p>			<p>1 小中連携・一貫教育導入校数</p> <p>2 配置数</p> <p>3 配布教科書数</p> <p>4 小中連携・一貫教育推進交付金交付校数</p> <p>5 飯田コミュニティスクールの指定校</p>		<p>1 9中学校区</p> <p>2 12人</p> <p>3 513冊</p> <p>4 3校区</p> <p>5 28校</p>		
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①	25,651	24,889	24,163	0	(そ)ふるさと寄附金			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他			13,372					
一般財源	25,651	24,889	10,791					
人件費計(千円)②	0	715	715	0				
正規職員所要時間		200	200					
臨時職員所要時間								
総事業費①+②	25,651	25,604	24,878	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>小中連携・一貫教育の「深耕期」として、全中学校区において「小中連携・一貫教育」の「質」を高める実践を継続してきた。</p> <p>平成28年度に、小中連携一貫教育を支える学校運営の仕組みとして、全ての小中学校で学校運営協議会が設立され、飯田コミュニティスクールに指定された。</p>							
改革改善の考え方	①問題点	小中連携・一貫教育のさらなる充実 地域で学校を支える仕組み「飯田らしいコミュニティスクール」の充実						
	②改革提案	小中連携・一貫教育推進委員会における情報交換や、各校区の取組の検証 地域との連携強化						